

令和元年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和 2 年 3 月 2 7 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学研究科
・博士前期課程 1 年

申 請 者 名 野内 冴希

助成事業の区分	<p>いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/>学会参加) 学術振興に関する事業 (<input type="checkbox"/>学生 <input type="checkbox"/>事務職員)</p>
事業名	<p>Conference on Advanced Researches in the Earth and Environmental Sciences (海外)</p>
事業実施期間	<p>令和元年 11 月 28 日 ~ 令和元年 12 月 1 日</p>
成果の概要	<p>2019 年 11 月 29~30 日にかけてベトナム国ホーチミン市にあるホーチミン市資源地理研究所 (HCMCIRG) で開催された International Conference on Advanced Researches in the Earth and Environmental Sciences (CAREES2019, 地球環境科学の先端研究に関する国際会議) に参加し発表した。発表タイトルは「Study on land subsidence by continuous monitoring of land compaction with groundwater level and field uplift survey in Ca Mau Province, Vietnam」(ベトナム国カマウ省における地盤収縮量と地下水位の連続観測及び現地抜け上がり調査による地盤沈下研究)で、発表者は野内冴希・伊東俊昭・柴崎直明・佐藤ひかる・メコングループである。</p> <p>発表は、CAREES2019 のセッション 3「地理」において口頭で行った。また、発表要旨 (Extended Abstract) は、CAREES2019 の要旨集「Kỷ yếu Hội nghị: Nghiên cứu cơ bản trong “Khoa học Trái đất và Môi trường”」(DOI: 10.15625/vap.2019.000171, 「地球環境科学」の基礎研究) の 421-423 ページに掲載された。</p> <p>本発表では、ベトナム国カマウ省で実施している地盤沈下研究について、研究手法とその結果、考察の説明を行った。特に、カマウ省での抜け上がり調査で確認した実際の被害状況、地盤収縮量と地下水位の連続観測から明らかとなった地盤沈下特性を強調して説明した。</p> <p>CAREES2019 には、HCMCIRG をはじめベトナム側研究機関の研究者が数多く参加し、地盤沈下の被害状況や日本で古くから行われてきた地盤沈下の研究手法とその実用性を知ってもらうことができた。また、HCMCIRG の若手研究者と意見交換や交流を行うことができ、研究への視野が広がるとともに今後の研究の励みとなった。</p>